

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-109121

(43)Date of publication of application : 11.04.2003

(51)Int.Cl. G07G 1/12
G06F 17/60
G07G 1/01
G07G 1/06

(21)Application number : 2001-301107

(71)Applicant : FUJITSU FRONTECH LTD

(22)Date of filing : 28.09.2001

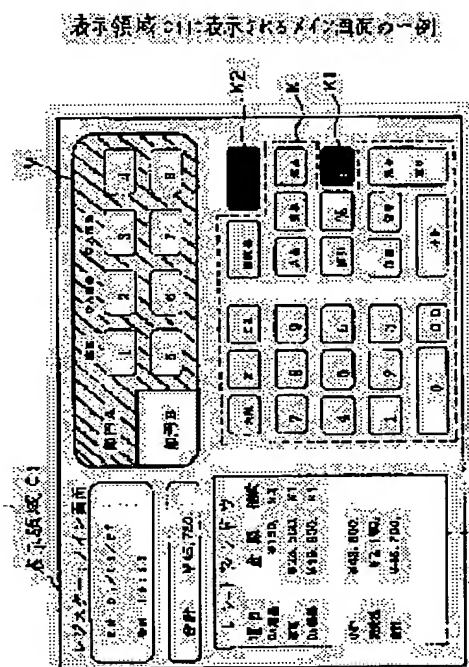
(72)Inventor : KAMIYAMA NOBUO
GOTO YASUHIRO

(54) COMMERCIAL TRANSACTION PROCESSOR AND COMMERCIAL TRANSACTION PROCESSING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a commercial transaction processor where the complicated function of a cache register is switched to a more easily understandable one for an inputting person and the use convenience for the inputting person increases and to provide a commercial transaction processing method.

SOLUTION: The processor is constituted so as to be provided with, beside the general function of the cache register, a receipt window L displaying information on the inputted amount and item of a commodity on a picture in the image of a receipt at the time of paying the commodity and a content correcting means which directly selects a part to be corrected on the image, corrects it and returns it to a previous processing state by one with a correction key K1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 28.09.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 19.10.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-109121

(P2003-109121A)

(43)公開日 平成15年4月11日(2003.4.11)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 7 G 1/12	3 4 1	G 0 7 G 1/12	3 4 1 A 3 E 0 4 2
	3 2 1		3 2 1 C
G 0 6 F 17/60	1 1 8	G 0 6 F 17/60	1 1 8
	Z E C		Z E C
G 0 7 G 1/01	3 0 1	G 0 7 G 1/01	3 0 1 E

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-301107(P2001-301107)

(22)出願日 平成13年9月28日(2001.9.28)

(71)出願人 00023/639

富士通フロンテック株式会社

東京都稲城市矢野口17/6番地

(72)発明者 上山 信夫

東京都稲城市矢野口17/6番地 富士通機電
株式会社内

(72)発明者 後藤 康弘

東京都稲城市矢野口17/6番地 富士通機電
株式会社内

(74)代理人 100074099

弁理士 大曾 義之 (外1名)

最終頁に続く

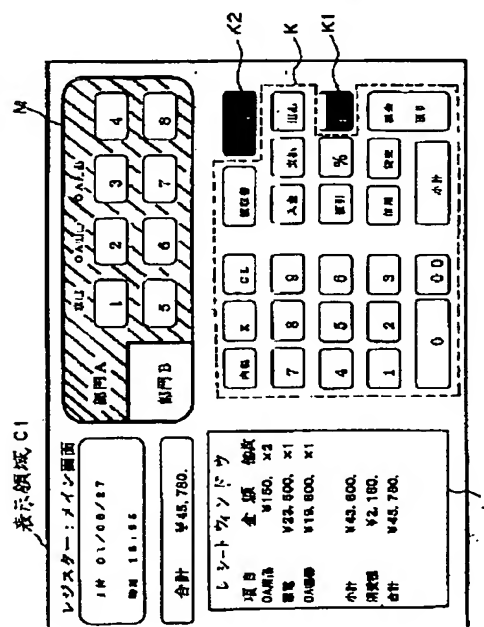
(54)【発明の名称】 売買取引処理装置及びその方法

(57)【要約】

【課題】本発明は、キャッシュ・レジスターの複雑化した機能を入力者にとってより分かり易いものへと移行し、入力者の使い勝手が増すような売買取引処理装置及びその方法を提供することを目的とする。

【解決手段】一般的なキャッシュ・レジスターの機能に加えて、商品の清算時に、入力した商品の金額や項目などの情報を画面上にレシートのイメージで表示させるレシートウィンドウとし、入力情報の訂正処理を行なう場合に、訂正したい個所をそのイメージ上で直接選択して訂正を行なったり訂正ボタンK1で一つ前の処理状態に戻したりする内容訂正手段とを有するように構成する。

表示領域C1に表示されるメイン画面の一例



【特許請求の範囲】

【請求項1】商品に関連する情報や該商品を購入する顧客のもつ情報を入力し、前記商品に対して販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力し、該入力された情報を売上記録を管理する売上システムに通信回線を介して送出する売買取引処理装置であって、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示する処理内容表示手段と、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する内容訂正手段と、前記表示された内容を媒体に記録する内容記録手段と、前記記録された内容の所定部分を所定期間ごとに集計してグラフィック表示させる内容集計手段と、を有することを特徴とする売買取引処理装置。

【請求項2】商品に関連する情報を入力して、前記商品に対する販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力する売買取引処理装置であって、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示する処理内容表示手段と、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する内容訂正手段と、を有することを特徴とする売買取引処理装置。

【請求項3】前記処理内容表示手段は、売買取引の処理が行なわれるたびに、該処理を含む最新の処理の順番で一部または全ての処理内容を表示し、前記内容訂正手段は、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を履歴情報から選択的に削除する、ことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の売買取引処理装置。

【請求項4】前記処理内容表示手段は、売買取引の処理が行なわれるたびに、該処理を含む最新の処理の順番で、該処理の内容の一部または全てを、レシート形式で表示し、前記内容訂正手段は、該表示された内容の内、最新取引処理内容、または前記レシート形式で表示された内容から直接選択した内容を、履歴情報から選択的に削除する、ことを特徴とする請求項1乃至請求項3に記載の売買取引処理装置。

【請求項5】商品に関連する情報を入力して、前記商品に対する販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力する売買取引処理装置であって、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示する処理内容表示手段と、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する内容訂正手段と、前記処理内容の所定部分を所定期間ごとに集計してグラフィック表示させる内容集計手段と、を有することを特徴とする売買取引処理装置。

【請求項6】商品に関連する情報を入力して、前記商品

に対する販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力する売買取引処理装置であって、前記商品に関連する情報の内、複数項目からなる情報をグループ分けして、該グループ分けした情報を選択的に切り替える情報切替手段と、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示する処理内容表示手段と、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する内容訂正手段と、を有することを特徴とする売買取引処理装置。

【請求項7】商品に関連する情報を入力して、前記商品に対する販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力する売買取引処理方法であって、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示し、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する、ことを特徴とする売買取引処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品（サービス含む）に対する販売者と顧客との売買取引を実行する売買取引処理装置及びその方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来から、顧客が商品（サービスを含む）を店舗から購入する際、その売買取引の処理は店舗に設置されたキャッシュ・レジスターやその機能を持ったPOS（Point Of Sales）端末を利用して行なわれている。

【0003】前者のキャッシュ・レジスターは、金銭情報の計算やそのやり取りを逐一記録することを専門に行なうもので、キーボードからその商品の部門、金額、個数、値引率などの各種情報を入力し、訂正がある場合には訂正処理を行ない、合計金額を計算するなどの各種計算処理を行なう。また、レシート出力時には、これらの処理が逐一印字されるように構成されている。

【0004】また、後者のPOS端末は、前述したキャッシュ・レジスターの機能に加え、商品の在庫管理や売上管理などを専用のサーバで行なえるように構成されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】このキャッシュ・レジスターあるいはキャッシュ・レジスター機能を有する部分において、前者はキャッシュ・レジスター機能に特化した構成を有し、これまで様々な工夫が為され、改良が繰り返され、よりシンプルで使い勝手の良いものが確立されてきた。ところが、時代の変化と共に顧客のニーズが高まり、この取引処理において様々な要求が課せられてきた。すなわち、この要求の数だけキーボード上に入力ボタンを増やす必要が生じ、これに伴うキャッシュ・

レジスター自身のもつ機能の複雑化により取り扱いマニュアルのページ数が増量し、操作性も含め、キャッシュ・レジスター入力者にとって大変な負担を生ずる結果となった。また、入力情報の訂正処理においては、訂正記録がレシートにそのまま残ってしまい、訂正箇所が増えるに従ってレシートは見難くかつ印字部分が長いものとなってしまう。さらに、取引の期間集計とグラフ化を行なう機能などを特に有してはいないため、取引状況などの分析にも手間を要し、入力者にとって利用し難いものとなっていた。後者のPOS端末においてもキャッシュ・レジスター機能を専門とはしていないため、上記と同様なことが言える。

【0006】そこで本発明は、以上のような複雑化した機能を入力者にとってより分かり易いものへと移行し、入力者の使い勝手が増すような売買取引処理装置及びその方法を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は上記課題を解決するために以下のように構成する。すなわち、本発明の一例態としては、例えば商品の価格や該価格に対する顧客の支払額などの情報や該商品を購入する顧客の会員番号などの情報を入力し、前記商品に対して販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力し、該入力された情報を売上記録を管理する売上システムに通信回線を介して送出する売買取引処理装置であって、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示する処理内容表示手段と、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する内容訂正手段と、前記表示された内容を媒体に記録する内容記録手段と、前記記録された内容の所定部分を所定期間ごとに集計してグラフィック表示させる内容集計手段と、を有するように構成する。

【0008】なお、前記処理内容表示手段は、売買取引の処理が行なわれるたびに、該処理を含む最新の処理の順番で一部または全ての処理内容を表示し、前記内容訂正手段は、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を入力情報の履歴をとる履歴情報から選択的に削除するように構成してもよい。

【0009】また、前記処理内容表示手段は、売買取引の処理が行なわれるたびに、該処理を含む最新の処理の順番で、該処理の内容の一部または全てを、レシートイメージをもったレシート形式で表示し、前記内容訂正手段は、該表示された内容の内、最新取引処理内容、または前記レシート形式で表示された内容から直接選択した取引処理内容を、入力情報の履歴をとる履歴情報から選択的に削除するように構成してもよい。

【0010】このように構成すれば、入力内容を入力順に確認することが可能となり、訂正したい箇所も簡単な操作で訂正することが可能となる。さらに、所定期間ごとの集計はグラフィック表示のため見易く、前記装置で

すぐに読み出せる。

【0011】また、本発明の一例態としては、例えば商品の価格や該価格に対する顧客の支払額などの情報を入力して、前記商品に対する販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力する売買取引処理装置であって、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示する処理内容表示手段と、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する内容訂正手段と、を有するように構成する。

【0012】なお、前記処理内容表示手段は、売買取引の処理が行なわれるたびに、該処理を含む最新の処理の順番で一部または全ての処理内容を表示し、前記内容訂正手段は、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を入力情報の履歴をとる履歴情報から選択的に削除するように構成してもよい。

【0013】また、前記処理内容表示手段は、売買取引の処理が行なわれるたびに、該処理を含む最新の処理の順番で、該処理の内容の一部または全てを、レシートイメージをもったレシート形式で表示し、前記内容訂正手段は、該表示された内容の内、最新取引処理内容、または前記レシート形式で表示された内容から直接選択した取引処理内容を、入力情報の履歴をとる履歴情報から選択的に削除するように構成してもよい。

【0014】このように構成すれば、各商品に対する売買取引の内容を処理順に一目で確認することが可能となり、訂正したい箇所も簡単な操作で訂正することが可能となる。

【0015】また、本発明の一例態としては、例えば商品の価格や該価格に対する顧客の支払額などの情報を入力して、前記商品に対する販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力する売買取引処理装置であって、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示する処理内容表示手段と、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する内容訂正手段と、前記処理内容の所定部分を所定期間ごとに集計してグラフィック表示させる内容集計手段と、を有するように構成する。

【0016】このように構成すれば、各商品に対する売買取引の内容を処理順に一目で確認することが可能となり、訂正したい箇所も簡単な操作で訂正することが可能で、さらに所定期間ごとの集計も容易に確認できる。

【0017】また、本発明の一例態としては、例えば商品の価格や該価格に対する顧客の支払額などの情報を入力して、前記商品に対する販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力する売買取引処理装置であって、前記商品に関連する情報の内、複数項目からなる情報をグループ分けして、該グループ分けした情報を選択的に切り替える情報切替手段と、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示する処理内容表示手段と、該表示された内容の内、最新取引処

理内容または選択された内容を訂正する内容訂正手段と、を有するように構成する。

【0018】このように構成すれば、各種操作の選択性がよくなる。また、本発明の一例態としては、商品に関連する情報を入力して、前記商品に対する販売者と購入者との間に成立する売買取引の処理内容を出力する売買取引処理方法であって、前記処理内容の一部または全てを該処理の順番に所定の形式で表示し、該表示された内容の内、最新取引処理内容または選択された内容を訂正する、ようにしてもよい。

【0019】このようにすれば、各商品に対する売買取引の内容を処理順に一目で確認することが可能となり、訂正したい箇所も簡単な操作で訂正することが可能となる。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら詳細に説明する。図1は、本発明の実施の形態を有効に利用した場合の一例を概念図で示したものである。

【0021】この図には、顧客Bが店舗の清算カウンターで購入した商品を清算している様子が示されている。図に示すように、店員Aはキャッシュ・レジスターCを使用して顧客Bの購入した商品を清算している。

【0022】このキャッシュ・レジスターCの本体は例えば図2に示されているような概観を有し、図3に示すようなブロック図で構成される。キャッシュ・レジスターCは、この本体に金銭を収容するキャッシュドローワーを増設して構成される。本発明の実施の形態では、表示領域C1にタッチパネル形式のものを採用して各種の入力を行なうが、キーボードやマウスなどを利用して各種の入力を行なうようにしてもよい。また、C2に示すようなICカードの読み取り及び書き込み部を設けておくことによって、ICカードを所有する顧客Bに対して値引やポイント付与などの特典処理、購入する商品の清算などを、ICカードを使って行なえるようにすることもできる。

【0023】ここで、前述した図3に示すブロック図を説明する。顧客Bが購入した商品の金額などを画面にタッチしたりバーコード情報を読み取るなどして入力する部分は、入力部1で示され、入力された金額を合計したり、期間ごとに集計するなどの演算処理を行なう部分は、CPU（中央演算処理部）2で示され、データを記憶するROMやRAMなどで構成される部分は、メモリ3で示され、データを記録する部分は、記録部4で示され、操作ボタン、入力内容、演算結果などを表示する部分は、表示部5で示され、例えばレシートなどのように入力内容や演算結果を出力する部分は、出力部6で示され、これら全ての部分がバスを介して接続されている。また、図示されていないが、商品の在庫管理や売上管理を行なうサーバと通信回線を介して情報の送受信を行な

えるように、通信制御手段をバスを介して接続させてもよい。但し、この場合はキャッシュ・レジスター機能を有したPOS端末としての利用が考えられる。

【0024】このように構成されるキャッシュ・レジスターCの表示領域C1に、従来のキャッシュ・レジスターのキーボードに備えられたボタン群、訂正ボタン、部門別登録ボタンに加えて、集計ボタン、入力内容を見やすい形式で表示するレシートウインドウを表示させる。図4は、それらを表示させたメイン画面の一例を示したもので、この画面は例えば「Visual Basic（登録商標）」などの既知のプログラムによって作成することができる。この図4において、ボタン群はK、訂正ボタンはK1、集計ボタンはK2、部門別登録ボタンはM、レシートウインドウはLで示されている。

【0025】但し、ボタン群Kには、金額を入力する数字ボタン、領収書ボタン、入金ボタン、支払ボタン、返品ボタン、値引ボタン、%ボタン、信用ボタン、貸売ボタン、現金預りボタン、小計ボタンが含まれる。これらのボタンの機能は従来から実施されているものと同様であり、特にここでは詳細な説明を省くが、下記の本文の中では既知の機能として適宜これらの名称を使用していく。

【0026】なお、この図のように、レシートウインドウLの表示は、購入する商品の項目、金額、個数などの商品情報が印字される既存のレシートと同様なイメージのものが表示されるようにする方が望ましい。

【0027】また、部門別登録ボタンMは、ボタンM内に表示される項目の中から購入される商品に該当する項目を選択してその商品を項目別に分類させるためのものである。この項目数は複数見込まれるため、例えば図4に示されるように、各項目を予め部門別（図4においては部門AまたはB）に大別しておく。取引処理の際には、部門別登録ボタンM内の部門選択を行なうタブT（図4においては部門AまたはB）を選択切替することで、当該部門に属する項目だけを表示することができる。なお、部門別に大別する方法としては、例えば図5に示されるような部門別登録画面を用いて行なう方法がある。これは、先ず部門選択を行なうタブTを選択切替することで登録される項目の部門を選択（図5においては部門Aを選択）し、画面の下半分に表示されているキーボードを押下して空きセルVの1番から順番に当該項目を入力していく。図5では、家電、OA機器、OA用品の3項目が空きセルVの1番から3番まで順に入力されている。入力されたこれらの項目は、更新ボタンUを押すことで記録部4に登録され、登録されたこれらの項目は図4に示される部門別登録ボタンMに反映される。この部門別登録画面は、図4で示されるメイン画面に予め呼び出しボタンを配置しておき、当該ボタンを押下することにより呼び出せるようにしたり、メイン画面と独立して立ち上げるようにするなど、記録部4に部門と項

目を関連付けて登録できさえすればどのような登録方法を行なってもよい。

【0028】また、集計ボタンK2は、指定した期間ごとに売り上げの集計結果をグラフィックで表示させることができる。図6はその表示内容の一例を示したものであり、図6に示されるような例えば年間月別、月間日別、年間曜日別、一日時間帯別などの各期間ごとの集計をこの表示領域C1に選択的に表示させることができ、そのグラフィック表示に折れ線グラフや棒グラフ、さらに色分けするなどして表示させることができる。

【0029】また、この画面内に日付や時刻を例えば図4に示すように表示させてもよい。ここで、キャッシュ・レジスターCのCPU2の動作を説明する。メイン画面のボタン群Kから商品の金額、個数が入力されると、メモリ3にそのデータを記憶する。部門選択タブTにより部門選択がなされると、記録部4に予め登録され当該部門に対応する項目を、表示部5の部門別登録ボタンMに表示する。この表示した項目の中から商品に該当する項目が選択されると、このデータをメモリ3に記憶し、メモリ3に記憶した金額、個数、項目のデータを、例えば記録部4に予め記憶した所定の体裁で、表示部5のレシートウィンドウLに表示する。さらに商品の金額及び個数の入力となされる場合、以上に示した処理を繰り返して実行する。ボタン群Kの小計ボタンが入力されると、上記入力されたメモリ3に記憶された全商品の金額及び個数のデータから小計金額を算出し、レシートウィンドウLに算出結果を表示する。さらに消費税を算出して、小計金額と合計して、合計金額のデータをメモリ3に記憶し、このデータをレシートウィンドウLに表示する。支払方法が現金の場合、預り金額がボタン群Kから入力され、その預り金額のデータをメモリ3に記憶してレシートウィンドウLに表示する。現金預りボタンがボタン群Kから入力されると、メモリ3に記憶された合計金額と預り金額のデータからつり銭金額を算出して、算出結果をレシートウィンドウLに表示する。ボタン群Kの領収書ボタンが押下されると、レシートウィンドウLの表示内容が出力部6に出力される。以上で入力された商品の金額、個数、項目などのデータは記録部4に記録される。

【0030】なお、ボタン群Kに配置し上記で使用していないボタンによるCPUの動作は、既知のキャッシュ・レジスターと同等な動作を実行するものとする。また、メイン画面の集計ボタンK2が押下されると、記録部4に記録された商品の金額、個数、項目などのデータから指定した期間の集計結果を算出し、図6に示すようなグラフィックで表示部5に表示させる。この指定期間は、図6に示すように期間選択ができるようにしてもよく、この場合、選択された期間における集計を算出し、この算出結果を表示部5に表示する。

【0031】また、メイン画面の訂正ボタンK1が押下

されると、メモリ3に記憶された最新の入力データを削除する。また、レシートウィンドウL上の項目、金額、個数で表される各商品に対応した表示部分が選択されると、当該表示部分を反転させてレシートウィンドウLに表示させる。この反転した状態で、訂正ボタンK1が押下されると、当該表示部分のデータをメモリ3から削除する。

【0032】次に、店舗のレジカウンターで行なわれる清算処理を図7のフローチャート図を用いて説明する。但し、ここでも同様に、全ての入力はタッチパネル形式で行なわれるものとする。

【0033】店員Aは顧客Bが購入する一つ目の商品の金額、個数をキャッシュ・レジスターCの表示領域C1に表示されたメイン画面のボタンKから入力する(S101)。さらに部門別登録ボタンMのタブTを押下して部門選択をし、その商品に該当する項目を選択する(S102)。すると、メイン画面のレシートウィンドウLに、入力された金額、個数、項目の購入される商品情報が表示される(S103)。続いて、購入される商品があれば(S104)、順次上記ステップS101からステップS103の動作を繰り返す。店員Aは、購入される商品に関する金額、個数、項目の商品情報を入力する度に、レシートウィンドウLからその入力内容を確認することができる。この入力内容の表示は、最新入力情報はもちろんのこと、それ以前に入力された情報も所定の量を表示できる。ステップS104で購入される商品が無ければ、ボタンK内の小計ボタンを押下し(S105)、レシートウィンドウLには小計金額が表示され、さらに消費税及び合計金額が表示される(S106)。続いて、顧客Bの支払方法が現金であるならば(S107)、顧客Bからの預り金額をボタンKから入力する(S108)。すると預り金額がレシートウィンドウLに表示される(S109)。ここで店員AがレシートウィンドウLの表示内容に誤りがないことを目視で確認して、誤りが無ければボタンK内の現金預りボタンを押下して入力内容を確定する(S110)。その後、つり銭金額がレシートウィンドウLに表示される。また、ステップS107において信用または貸売と判断される場合には、夫々に対応するボタンM内の信用ボタンまたは貸売ボタンを押下する(S112、S113)。

【0034】なお、購入した商品のレシートへの印字は、ステップS111、S112、S113の各処理が終了した後に行なう方が望ましい。また、集計ボタンK2から呼び出される集計結果の表示は上記処理のどの時点においても実行可能である。

【0035】次に、この清算処理の要所々々で実行可能な入力内容の訂正処理を図8のフローチャート図を用いて説明する。図7を用いて説明した清算処理の中で入力ミスを店員Aが発見すると(S201)、その入力ミスの場所を次の2通りの方法で訂正する。第一の方法は、

レシートウィンドウLに表示された商品情報の中から当該商品情報を直接選択する方法であり、第二の方法は、ボタンK内の訂正ボタンK1を使用して、最新入力情報から順に訂正する方法である。この2通り方法の何れかを選択し(S202)、例えば第一の方法を選択する場合、当該商品情報が表示されている部分を直接タッチして選択する(S203)。すると、選択した部分が例えば反転表示されるなどして選択状態となり(S204)、ボタンK内の訂正ボタンK1を押下すると(S205)、反転表示された商品情報は削除される(S206)。ここで商品情報を再入力して訂正を終えて(S207)、引き続き清算処理を再開する。ステップS202で第二の方法を選択する場合、先ずボタンK内の訂正ボタンK1を押下する(S303)。この訂正ボタンK1を押下する際の清算処理の段階が預り金額を入力する前かどうかによって、削除される対象が異なる(S304)。入力する前であれば、最新に入力された商品情報から順に削除され(S305)、削除後、商品の金額を再入力する(S306)。ステップS304において、預り金額を入力した後と判断されると、その預り金額は削除され(S307)、さらに訂正が必要かどうかの判断がなされ(S308)、預り金額のみの訂正でその他に訂正を要しないならば、預り金額を再入力して訂正を終えて(S309)、引き続き清算処理を再開する。ステップS308で預り金額以外に訂正を要するならば、ステップS202の判断に基づき、第一の方法または第二の方法の訂正を上記手続きに基づいて行ない、夫々の方法の最終処理であるステップS207またはステップS306の処理を終えた後に清算処理が再開される。

【0036】なお、上記訂正処理は、例えば履歴管理方式を採用することにより、実現できる。これは、図9に示すように、部門、金額、項目、数量で構成される入力情報を履歴数に応じた数のスタックに1番から入力順に履歴情報としてメモリ3に記憶させ、履歴数が示したスタックが直前の登録品でデフォルトで消去の対象としたもので、これを用いることにより、訂正ボタンを押下した際に無限に入力前の状態に戻すことが可能となる。また、この履歴管理方式を用いることで、任意の場所の訂正を可能にしたり、小計の再計算も可能にする。

【0037】また、この訂正処理は、レシートへの印字前に行なわれることが最も望ましい。このように構成することによって、清算処理の際に、店員Aはメイン画面で入力ミスを確認できるようになり、訂正したい個所もメイン画面に表示された商品情報に直接触れることで簡

単に選択することができ、訂正ボタンを押すだけで一つ前の処理状態に戻ることができるので操作性が格段によくなる。また、項目を部門別に表示させるため、表示領域のボタン数を格段に減らすことができ、入力者による項目の選択性が上がる。さらに、キャッシュ・レジスターで設定した期間の集計を表示できるので、いつでも集計を読み出すことが可能で、入力者に簡単な操作で集計の分析を可能とさせる。

【0038】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、購入する商品を清算する際の入力情報の内容確認が容易になり、内容確認に基づく訂正処理も簡単な操作で行なうことができる。また、項目を部門別にすれば、少ないボタン数で使い勝手のよいものとなり、集計をグラフィック表示にすれば、分析をし易いものとなる。さらに、訂正処理をレシートに印字する前に行なうことができるため、レシートには、最終的に確定した入力内容のみが印字されるようになり、レシートが見易く適切な長さのものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態の概念図である。

【図2】キャッシュ・レジスターCの本体の概観図である。

【図3】キャッシュ・レジスターCの本体の構成図である。

【図4】表示領域C1に表示されるメイン画面の一例である。

【図5】部門別登録画面の一例である。

【図6】集計結果を表示する画面の一例である。

【図7】清算処理のフローチャート図である。

【図8】訂正処理のフローチャート図である。

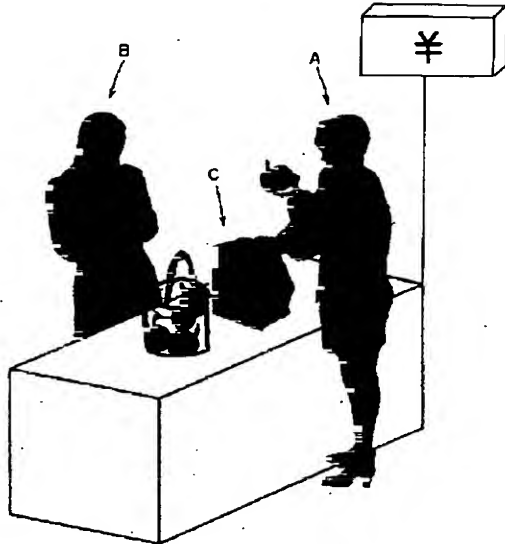
【図9】履歴スタックを示した図である。

【符号の説明】

A	店員
B	顧客
C	キャッシュ・レジスター
C1	表示領域
K	ボタン群
K1	訂正ボタン
K2	集計ボタン
L	レシートウィンドウ
M	部門別登録ボタン
T	部門選択タブ

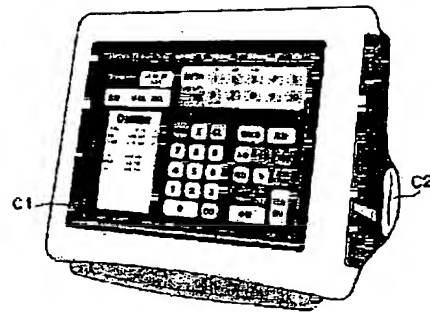
【図1】

本発明の実施の形態の概念図



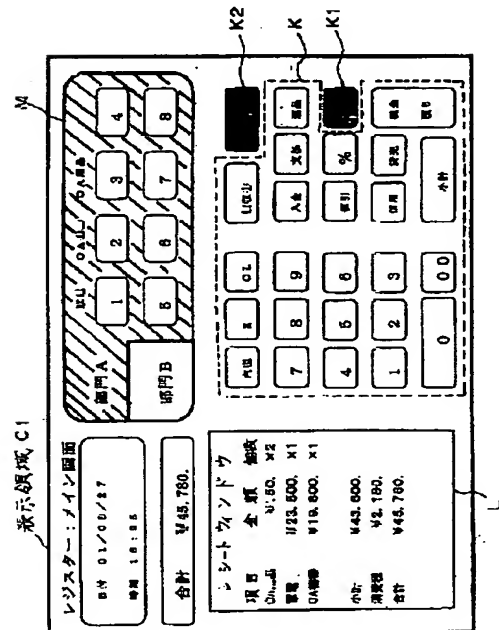
【図2】

キャッシュレジスターCの本体の概観図



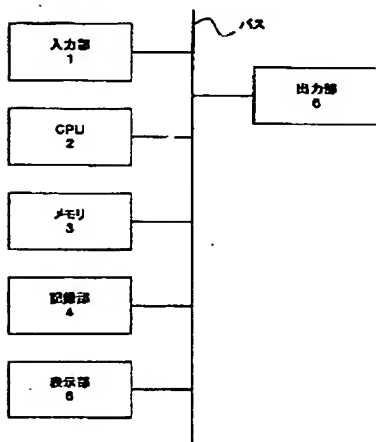
【図4】

表示領域C1に表示されるメイン画面の一例



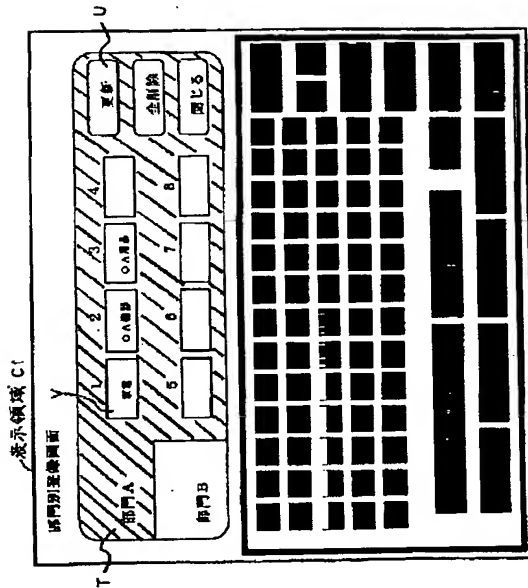
【図3】

キャッシュレジスターCの本体の構成図



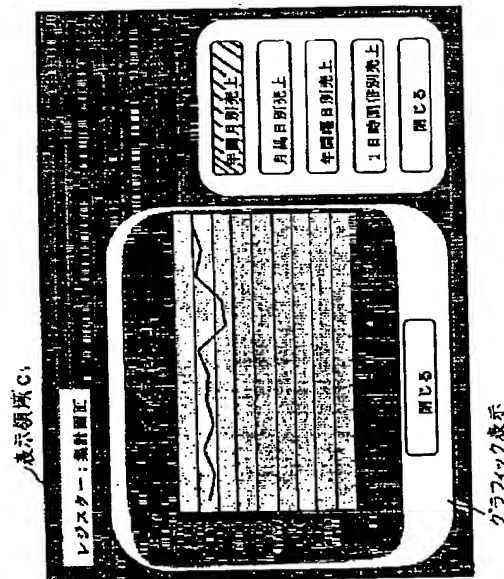
【図5】

部門別登録画面の一例



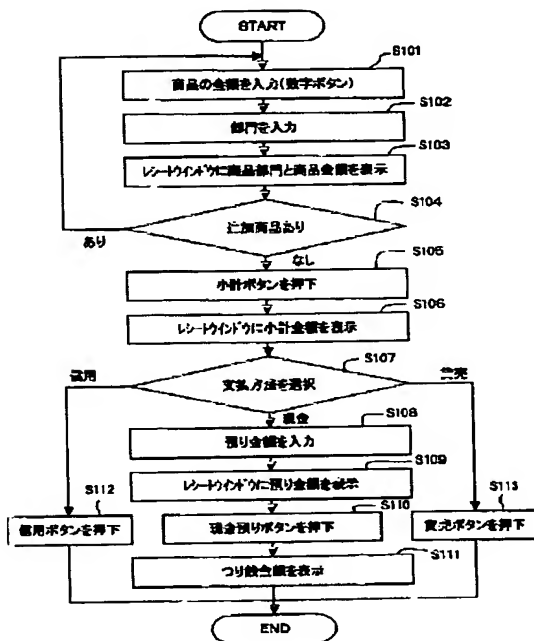
【図6】

集計結果を表示する画面の一例



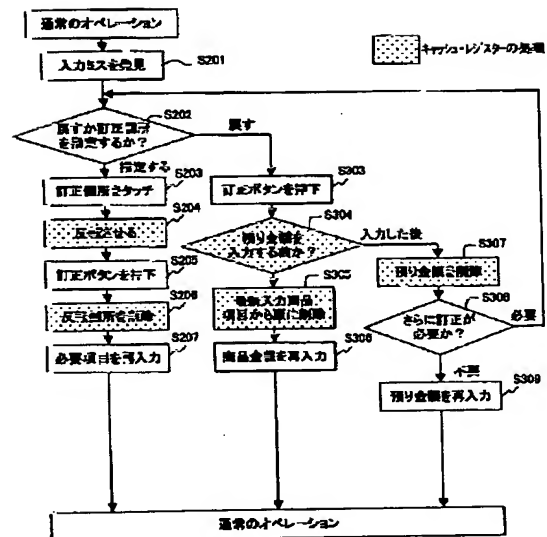
【図7】

清算処理のフローチャート図



【図8】

訂正処理のフローチャート図



【図9】

履歴スタックを示した図

履歴				
	部門	金額	項目	数量
スタック1				
スタック2				
スタック3				
スタック4				
スタック5				
スタック15				

履歴数 15

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷ 識別記号 F I (参考)
G 0 7 G 1/06 G 0 7 G 1/06 B

Fターム(参考) 3E042 AA01 BA05 BA07 CB03 CC09
CD02 CD04 CD08 CE04 CE06
EA04

THIS PAGE BLANK (USPTO)